

Chapter4

社会の諸課題と社会教育政策


Subject 2) 家庭の教育力の向上

1. 家庭の教育力の現状と課題
2. 家庭の教育力向上のための支援策

九州女子短期大学 准教授
大島 まな


1. 家庭の教育力の現状と課題

- (1) 家庭教育をめぐる最近の動き
- (2) 保護者の役割と「家庭の教育力」の意味
- (3) 家庭の教育力の低下—現状と背景



(1) 家庭教育をめぐる最近の動き

- 平成10年 中央教育審議会答申(幼児期からの心の教育)
- 平成14年 今後の家庭教育支援の充実についての懇談会報告-「社会の宝」として子どもを育てよう!
- 平成15年 少子化社会対策基本法の成立
次世代育成支援対策推進法の成立
- 平成16年 少子化社会対策大綱・子育て応援プランの策定
- 平成18年 改正**教育基本法**の施行(第10条「家庭教育」)
- 平成20年 改正社会教育法の施行(教育委員会の事務)
教育振興基本計画(特に重点的に取り組むべき事項の一つとして「家庭教育支援」)



教育基本法(平成18年12月改正)

(家庭教育)

- 第十条** 父母その他の保護者は、子の教育について第一義的責任を有するものであって、生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする。
- 2** 国及び地方公共団体は、家庭教育の自主性を尊重しつつ、保護者に対する学習の機会及び情報の提供その他の家庭教育を支援するために必要な施策を講ずるよう努めなければならない。

(2) 保護者の役割と 「家庭の教育力」の意味

家庭教育

人格形成や社会化の基礎を培うもの

- 人に対する信頼感や情操
- 基本的な生活習慣や生活能力
- 自立心や自制心
- 善悪の判断や社会的なマナーなど

(親=躾ける)



(子=体験して身に付ける)

心身の調和のとれた発達を図る

家庭の教育力

健全な発達に必要な「体験プログラム」
が日常の家庭生活に豊かにあるかどうか

(3) 家庭の教育力の低下 — 現状と背景

◎ **現状** : しつけや子育てに自信がない親

無責任・無関心な親、過保護・過干渉な親

児童虐待件数など

…の増加

◎ **背景と要因**

1) 都市化、核家族化、少子化、地域のつながりの減少

⇒ 子育てを支える **地域のしきみ** の崩壊

⇒ 子育ての **孤立化** ・母親への負担集中



◎背景と要因

- 2) **ワーク・ライフ・バランス**(仕事と生活との調和)の困難
 - ⇒父親の育児参加が困難
 - ⇒働く女性の困難
- 3) 価値観や基準の多様化
- 4) **過保護**(世話、指示、授与、受容が過剰)で自立できない
 - 生活の変化・・・「豊か」で「便利」
 - ⇒ 体験の欠損



2. 家庭の教育力向上のための支援策

- (1) 社会全体での家庭教育支援
- (2) すべての親への支援
- (3) 子育てサークル・ネットワークの形成
- (4) 支援者の育成
- (5) 子どもの発達支援ー地域の教育力の再生

(1) 社会全体での家庭教育支援

○「社会の宝」として子どもを育てよう

教育基本法 (平成18年改正)

(学校、家庭、及び地域住民等の相互の連携協力)

第十三条 学校、家庭及び地域住民その他の関係者は、教育におけるそれぞれの役割と責任を自覚するとともに、相互の連携及び協力に努めるものとする。

(2) すべての親への支援

- ◎ **学習機会の提供**
学級・講座 → 多くの親が集まる機会
出前講座など
- ◎ **情報の提供**
家庭教育手帳、IT活用など
- ◎ **相談・助言の体制づくり**
電話相談、IT活用、子育てサロン、訪問支援など

地域の支援チーム (福祉領域等との連携協力)

(3) 子育てサークル・ネットワークの形成

子育てサークル

…親同士が相互に支えあう
学習、おしゃべりや親子遊びの場

子育てネットワーク

…子育て中の親を支援する
親やサークルを結ぶ
学習・啓発、託児支援、子育て相談、情報提供
広域的な交流など

参加者自身の自主的運営に

(4) 支援者の育成

- ◎ 子育てサポーターの養成
- ◎ 子育てサポーターリーダーの養成
地域の支援チームの運営、関係機関との連携
そのために…
研修カリキュラムやテキストの開発
- ◎ 地域活動を支えるボランティアの発掘・養成・登録



(5) 子どもの発達支援 －地域の教育力の再生

【家庭、学校、地域の連携・協力】

→ 子どもの健全な成長発達のため

- 生活リズム向上のための
「早寝・早起き・朝ごはん」運動
- 自立支援のための「体験プログラム」
||
家庭教育を補完する地域社会の力